

大会名 Competition	第24回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-108	Year Month Day Time 2011 年 5 月 4 日 13 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B										
沼津中央	<table border="1"> <tr><td>16 1st</td><td>22</td></tr> <tr><td>19 2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>20 3rd</td><td>8</td></tr> <tr><td>9 4th</td><td>12</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	16 1st	22	19 2nd	17	20 3rd	8	9 4th	12	OT		洛南高校
16 1st	22											
19 2nd	17											
20 3rd	8											
9 4th	12											
OT												
64 ○		59 ●										

主審:Referee 北沢 岳夫 (岩手県)  
副審:Umpire 疋田 晋 (秋田県)  
テーブル・オフィシャルズ:Table officials 能代商業高校

No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	/	反町 駿太		0	0	0	0	0	4	×	大元 孝文	CAP	15	2	4	1	2
5	/	川口 颯		7	0	2	3	2	5	×	荒谷 優斗		10	0	5	0	0
6	×	清水 亮	cap	0	0	0	0	1	6	/	井島 啓貴		0	0	0	0	0
7	×	鈴木 聖也		8	0	4	0	3	7	×	木澤 義椰		4	0	2	0	2
8	/	山口 夏希		0	0	0	0	0	8	/	清水 久能		3	0	1	1	2
9		長坂 卓哉		-	-	-	-	0	9	/	伊藤 諄哉		0	0	0	0	0
10	×	石川 知樹		5	0	2	1	1	10	/	河合 祥樹		4	1	0	1	0
11	×	小松 京太		9	0	4	1	0	11	/	伊藤 達哉		0	0	0	0	4
12		村上 友哉		-	-	-	-	0	12	×	仁平 拓海		4	0	2	0	3
13		鈴木 康平		-	-	-	-	0	13		宮脇 隼人		-	-	-	-	0
14		望月 孝祐		-	-	-	-	0	14	/	成田 穂高		0	0	0	0	1
15	×	ソウ シェリフ		35	0	14	7	2	15	×	寺部 亮佑		19	0	8	3	4
16		砂川 剣人		-	-	-	-	0	16	/	西戸 良		0	0	0	0	1
17		岡田 雄三		-	-	-	-	0	17		森井 健太		-	-	-	-	0
18		山口 力也		-	-	-	-	0	18		渡部 裕地		-	-	-	-	0
コーチ		杉村 敏英							コーチ		吉田 裕司						
Aコーチ		駒形 潤治							Aコーチ		作本 信夫雄						
合計				64	0	26	12	9	合計				59	3	22	6	19

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、沼津中央は2-3ゾーンディフェンスでスタートする。対する洛南はハーフコートマンツーマンでスタートする。出だし、両チームともシーソーゲームが続き、なかなか点差をつけられない。洛南は鍛錬された激しいディフェンスで沼津中央#15ソウを抑え、残り3分から#11伊藤、#15寺部が得点を重ね16-22の洛南リードで1Qを終える。

2Q、沼津中央は出だしから#7鈴木、#5川口が得点を重ね、開始3分で同点に追いつく。洛南は#4大元の3Pや、#15寺部のシュートで得点するが、沼津中央も#15ソウを中心に得点を重ね、なかなか点差が開かない。結局、35-39と洛南リードで前半を終了する。

3Q、洛南は相手のゾーンディフェンスに苦しみ、シュートの本数は多いものの、なかなか決まらず点数が取れない。対する沼津中央は、#15ソウのインサイドプレーを中心に得点を重ね、開始4分で同点に追いつく。洛南は沼津中央#15ソウを厳しくマークするが逆にファールがかさみ、メンバーを交代せざるを得ない状況になる。その際に沼津中央は#15ソウのインサイドプレーを中心に得点を重ね、55-47の沼津中央リードで3Qを終える。

4Q、洛南はメンバーを元に戻すが、点数が取れない時間が続く。一方、沼津中央は#15ソウを中心に着実に得点する。残り6分半沼津中央#7鈴木シュートの決まり、この試合最大の13点差がついたところで、洛南はたまたまタイムアウトを取る。洛南はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、激しいディフェンスを見せるものの、自分たちのミスからなかなか点差を詰められない。それでも洛南は徐々にペースを掴み、残り1分には沼津中央のパスミス誘うなど肉薄するが、沼津中央は効果的なタイムアウトで落ち着いたゲーム運びを見せ、64-59で洛南を下した。